

建設は、
君を強くする。



変身、人前!



・当社イメージキャラクター：お笑いコンビ 宮下草薙
・当社マスコット：コブ郎

いや、大きく
なりすぎだろ!

2023年3月期（17期）
第3四半期決算説明資料

2023年2月13日



株式会社コプロ・ホールディングス
東証プライム・名証プレミア（証券コード：7059）

- 01 第3四半期決算概要**
- 02 建設技術者派遣における主な取組み**
- 03 アライアンスの取組み**
- 04 参考資料**

SECTION 01

**第3四半期
決算概要**

01

連結決算ハイライト

- 主にコア事業の建設技術者派遣において、退職人数の抑制に加え、採用数が概ね計画通りに推移したことにより、売上高は大幅に増加。一方、採用費の先行投資により、営業利益以下の各段階利益は減少。
- 売上高、各段階利益の通期進捗率は概ね前期と同水準で推移しており、対計画でも順調に推移。

(百万円)

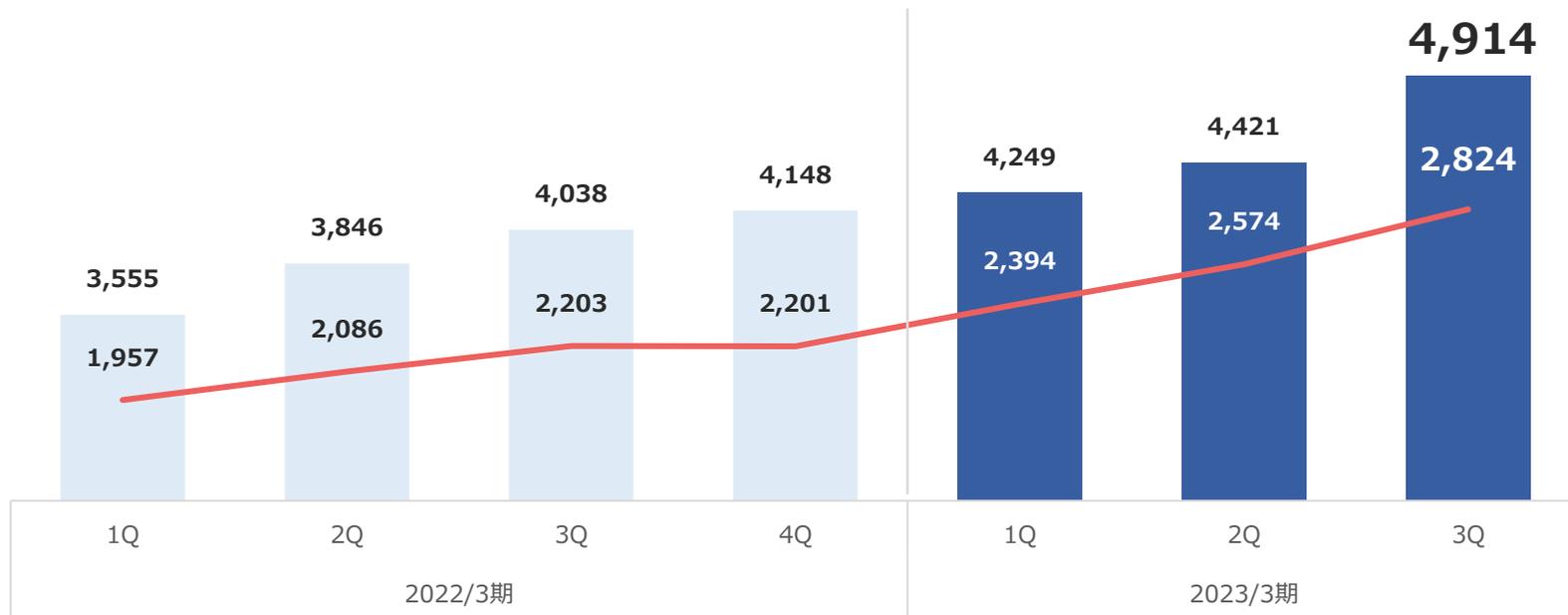
	2022/3期		2023/3期		前期比		2023/3期	通期進捗率
	3Q累計	通期進捗率	3Q累計	構成比	増減率	増減額	通期予想	
売上高	11,440	73.4%	13,584	100.0%	+18.7%	+2,144	18,380	73.9%
売上原価	7,909	73.6%	9,530	70.2%	+20.5%	+1,620	12,779	74.6%
売上総利益	3,530	72.9%	4,054	29.8%	+14.8%	+524	5,601	72.4%
販売費及び一般管理費	2,408	74.7%	3,191	23.5%	+32.5%	+782	4,397	72.6%
営業利益	1,121	69.2%	862	6.4%	△23.1%	△258	1,204	71.6%
Non-GAAP営業利益 [※]	1,283	69.7%	1,076	7.9%	△16.2%	△207	1,521	70.7%
経常利益	1,119	69.1%	866	6.4%	△22.6%	△252	1,206	71.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	619	64.4%	521	3.8%	△15.9%	△98	727	71.7%
連結技術者数(期末) [※]	2,203	-	2,824	-	+28.2%	+621	3,024	93.4%

※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

※ 連結技術者数はSES事業におけるITフリーランスを含む期末人員数を記載しています。

四半期連結業績

・第3四半期の売上高、技術者数はともに前四半期から増加。四半期ベースで過去最高を更新。



連結売上高(百万円)	3,555	3,846	4,038	4,148	4,249	4,421	4,914
前四半期比	△5.7%	+8.2%	+5.0%	+2.7%	+2.4%	+4.0%	+11.2%
連結技術者数(期末、人)	1,957	2,086	2,203	2,201	2,394	2,574	2,824
前四半期比	△3.1%	+6.6%	+5.6%	△0.1%	+8.8%	+7.5%	+9.7%

■ 連結売上高 ■ 連結技術者数(期末)

SECTION 02

建設技術者派遣 における 主な取組み

建設技術者派遣KPI

技術者数

2,570人

(前期比+27.9%)



取得案件数

24,049件

(前期比+73.2%)



採用数 (新卒含む)

1,025人

(前期比+57.5%)



中途採用単価

406千円

(前期比+77.4%)



ターゲット企業配属比率

88.1%

(前期比+2.3pts)



契約継続率

82.9%

(前期比+7.1pts)



無期雇用比率

45.0%

(前期比+24.3pts)



定着率

79.0%

(前期比+4.4pts)



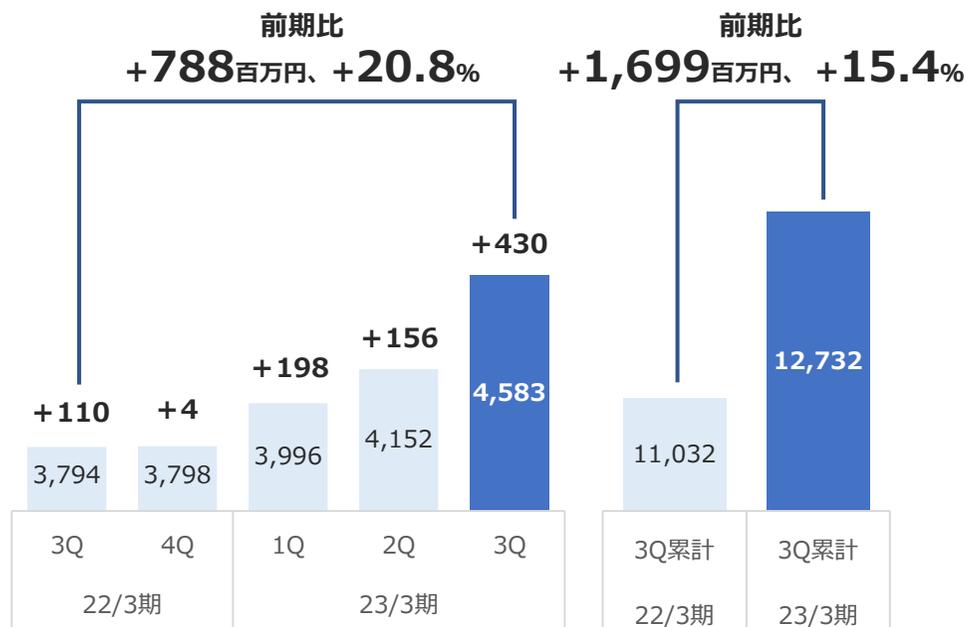
※◎は予想以上または前期実績より良化、○は予想または前期実績並みで推移、△は改善傾向、×は想定または前期実績を下回って推移していることを表す。

売上高・技術者数

- 営業プロセスの管理強化による営業活動の底上げにより、顧客企業からの取得案件数は前期比+73.2%と大幅増加。
- 採用費の積極投入により採用数も拡大。営業と採用の両輪が噛み合うことで、技術者数の増加に伴い売上高も順調に増加。

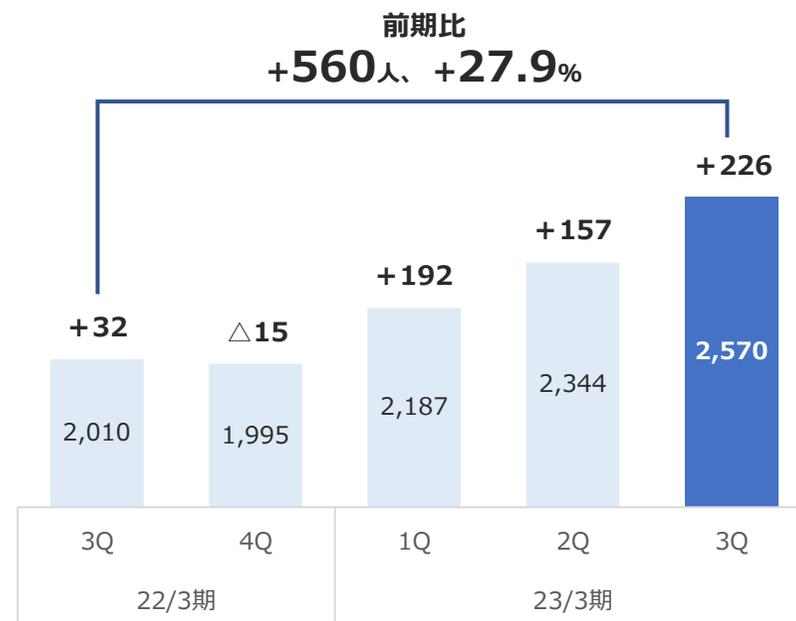
売上高

(百万円)



技術者数

(人)



中途採用数の拡大

- 当期は人財の確保によるトップラインの伸長を優先し、先行投資的に中途採用費を積極投下。
その結果、中途採用数は前期比+60.8%と大幅に増加。通期では1,417人の過去最高を目指す。

中途採用数



中途採用費の積極投下

3億88百万円
(前期比+185.3%)

主な取組み

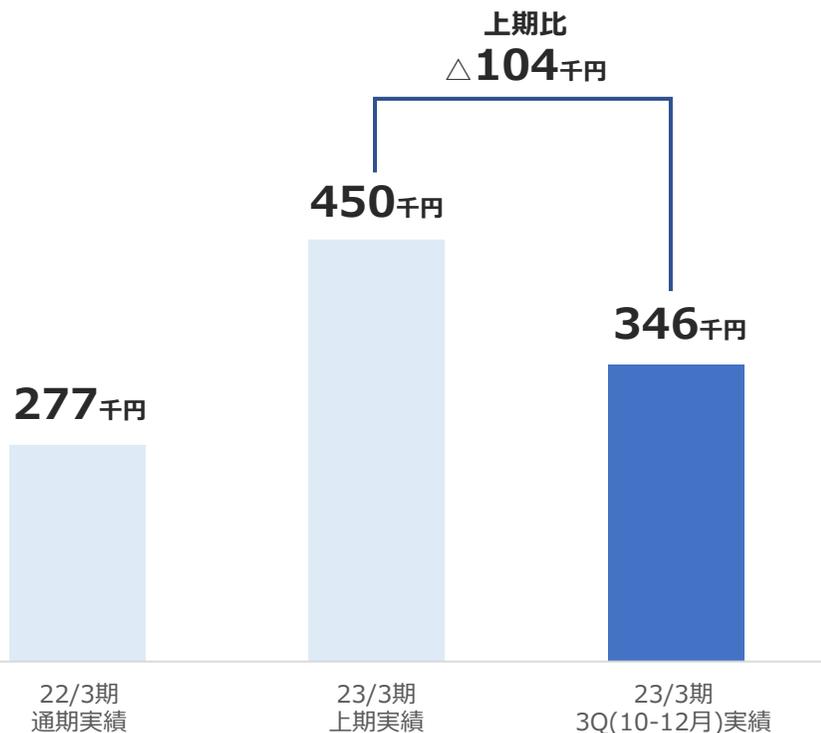
- 採用プロセスの指標管理・標準化により基礎行動量を底上げ
- 建設需要の高い東名阪における人財の確保に向け、採用担当の増員および面接設定の専任担当者の配置

中途採用数の進捗評価
進捗率は前期を若干下回るものの、
概ね計画通り推移

中途採用単価の低減

- 上期に悪化した中途採用単価の低減に向け、採用活動のプロセス管理や採用体制を強化。
その結果、応募から採用に至るまでの採用率の改善により、中途採用単価は適性水準近くまで改善。

中途採用単価



主な取組み

- 応募から面接設定までのリードタイムの短縮
- 顧客ニーズに長けた営業職の採用担当への起用や、決裁権者の面接への関与により、落とす面接から通す面接へ転換

中途採用単価の進捗評価
採用率の改善により、
採用単価を概ね適性水準へ軌道修正

定着率の改善

技術者へのトラスト活動強化

ターゲット企業への 深耕営業

ターゲット企業配属比率
88.1%
(前期比+2.3pts)

契約継続による安定配属

契約継続率
82.9%
(前期比+7.1pts)

無期雇用への転換促進

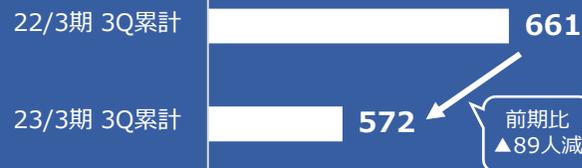
無期雇用比率
45.0%
(前期比+24.3pts)

定着率の進捗評価

技術者が安心して長く働ける環境整備により改善

3Q累計 **79.0%** (前期比+4.4pts)

■ 退職人数



※トラスト活動：技術者に対する訪問等を通じた配属後のアフターフォローやサポート
※ターゲット企業配属比率：スーパーゼネコンを始めとした大手ゼネコン・サブコン等、自社で選定したターゲット企業への配属人数の割合

SECTION 03

アライアンス の取組み

スパイダープラス株式会社との業務提携を通じた取組み

概要

建設業界におけるDXの推進及び強化を目的に、業務提携契約を締結

SpiderPlus & Co.



2022年11月14日
業務提携

 copro Engineerd

業務提携契約による実施事項

技術者の付加価値向上

毎月、新規配属者を対象に建設DXサービス「SPIDERPLUS」に関する研修を実施

「SPIDERPLUS」導入加速支援

当社派遣先の企業・建設現場をスパイダープラス社に紹介

当社進捗状況

研修人数 **187人**

「SPIDERPLUS」を利用可能な技術者を創出

現場使用率 **20%**

※2022年11～12月期間の実績

「SPIDERPLUS」研修受講による付加価値の発現に向け
現場使用率の更なる向上に取り組む

ブルーイノベーション株式会社と業務提携を締結①

- ブルーイノベーション株式会社と業務提携契約を2023年2月13日付で締結。
- DX推進を通じた建設現場の生産性向上に共同で取り組む。



派遣エンジニアの「人財」を
通じた現場支援



ドローン・ロボット活用による現場の改革・課題解決

■ 業務提携の内容

- ブルーイノベーションが提供するベースプラットフォーム「Blue Earth Platform® (BEP)」のコプロ・グループの顧客に対する共同PR活動

- コプロ・グループの技術者に対する建設・プラント領域に特化したドローン・ロボット活用のスペシャリスト養成

ブルーイノベーション株式会社と業務提携を締結②

ブルーイノベーション 会社概要

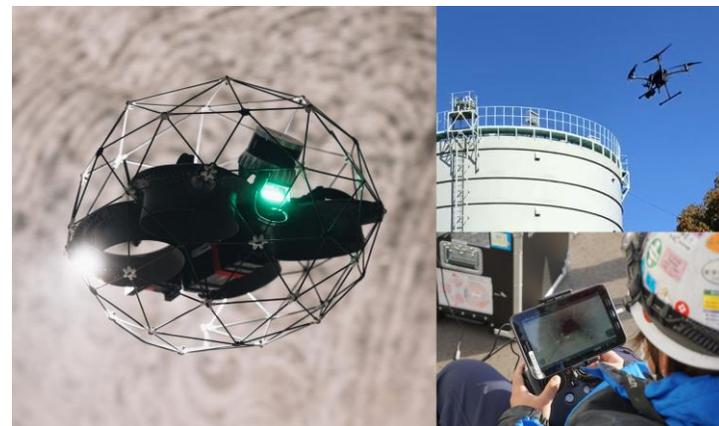
名 称 ブルーイノベーション株式会社

所 在 地 東京都文京区本郷5-33-10 いちご本郷ビル4F

代 表 者 代表取締役社長 熊田 貴之

事 業 内 容 異機種・複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォーム「Blue Earth Platform® (BEP)」を軸に、以下ソリューションを開発・提供

- ・ 点検ソリューション（プラント・工場・公共インフラなどのスマート点検、3Dモデル化など）
- ・ 物流ソリューション（倉庫内在庫管理、物流など）
- ・ オフィスソリューション（警備・防犯、監視、清掃など）
- ・ 教育ソリューション（社内人材育成、JUIDAライセンス教育など）



（左から）ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長 熊田 貴之、
当社代表取締役社長 清川 甲介

名古屋未来工科専門学校と「人財」育成の連携に関する協定締結

- 2023年2月10日に、機械・自動車工学科、建築デザイン学科、バイオ工学科、IT学科の4学科を運営する名古屋未来工科専門学校と地域活性化に向けた「人財」育成の連携に関する協定を締結。
- 教育活動における連携及び協力を通して、主に建設業界における将来の質の高い専門人財の育成を行い、地域建設活動の円滑な推進と地域社会の発展及び活性化に貢献する。



(左から) 名古屋未来工科専門学校 学校長 森園 博文、当社代表取締役社長 清川 甲介

学校法人 都築学園 名古屋未来工科専門学校

協定による連携概要

- 「コプロ・グループ奨学金制度」を始めとした修学支援
- 学生の現場教育支援
- 学生の研修支援
- 専門教育及び就業環境に関する情報交換

SECTION 04

参考資料

23/3期通期 連結業績予想

- 当期は売上高の伸長を優先し、採用費等の先行投資を実施。
- 技術者数の増加により売上高は大幅増収を予想。営業利益以下の各段階利益は、採用費等の先行投資により減益を予想。

(百万円)

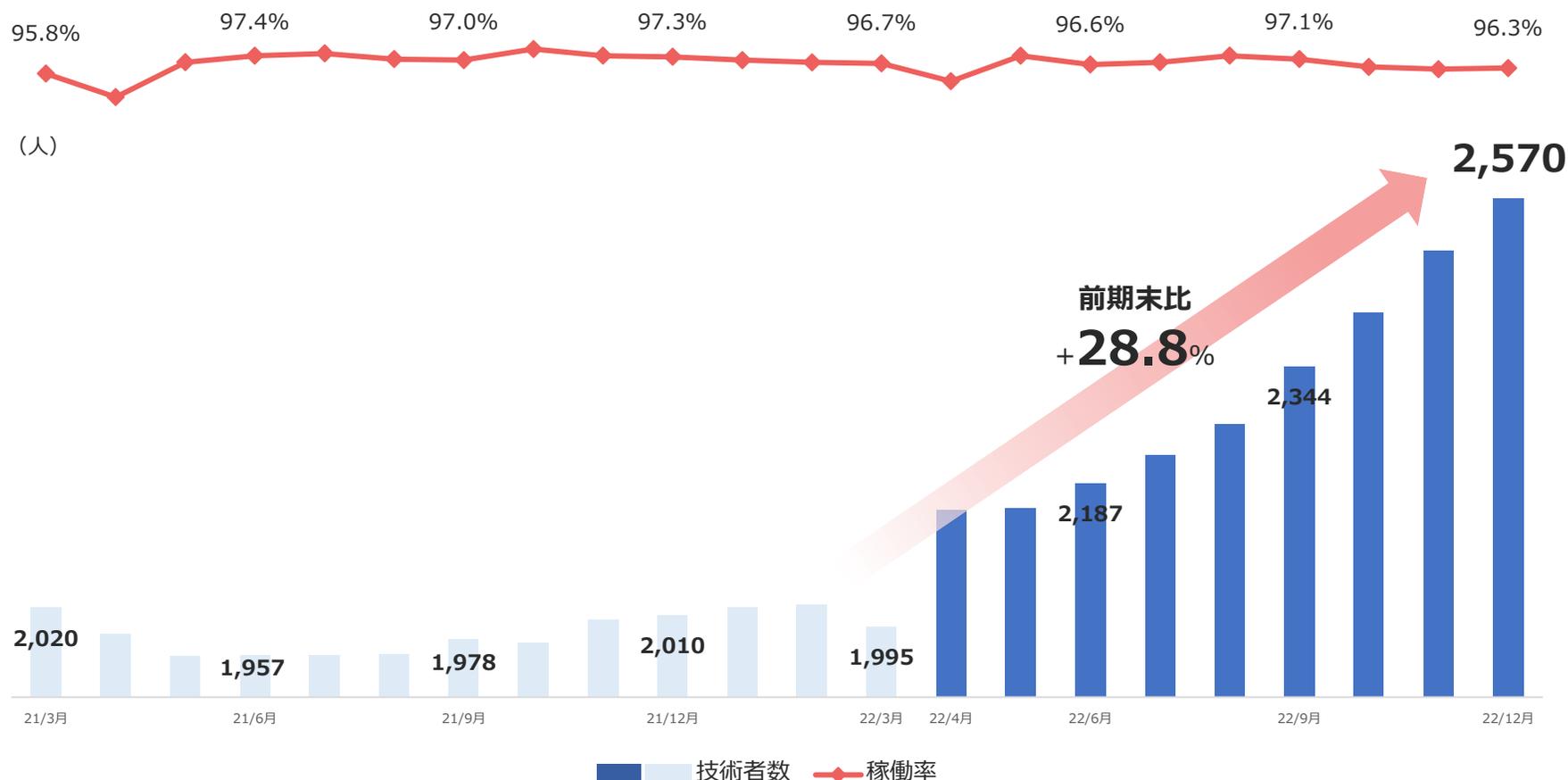
	2022/3期		2023/3期		
	通期実績	通期予想 (11/14上方修正)	構成比	前期比	
				増減率	増減額
売上高	15,589	18,380	100.0%	+17.9%	+2,791
売上原価	10,744	12,779	69.5%	+18.9%	+2,034
売上総利益	4,844	5,601	30.5%	+15.6%	+756
販売費及び一般管理費	3,223	4,397	23.9%	+36.4%	+1,173
営業利益	1,621	1,204	6.6%	△25.7%	△417
Non-GAAP営業利益 [※]	1,841	1,521	8.3%	△17.4%	△320
経常利益	1,619	1,206	6.6%	△25.5%	△412
親会社株主に帰属する当期純利益	962	727	4.0%	△24.5%	△235
1株当たり当期純利益	102.12円	78.29円	-	-	△23.83円
1株当たり年間配当金	40.0円	40.0円	-	-	-
連結技術者数(期末) [※]	2,201人	3,024	-	+37.4%	+823人

※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

※ 連結技術者数はSES事業におけるITフリーランスを含む期末人員数を記載しています。

建設技術者派遣：技術者数・稼働率

- 3Q末の技術者数は2,570人(前期末比+28.8%、前3Q末比+27.9%)。
- 採用数増加及び退職数減少による純増に加え、ヒューコス株式会社の労働者派遣事業を承継。2022年4月1日付で技術者122名が移籍。
- 3Q累計期間の稼働率は96.6%(前期比△0.3pts)。新型コロナウイルスの感染に伴う有休取得の影響により前期実績を若干下回るものの、高い水準を維持。



建設技術者派遣：採用/退職・定着率

- 3Q累計期間の採用数は1,025人(前期比+374人、同+57.5%)。
- 積極的な採用費の投下により応募数が大幅に増加したほか、応募から面接までのリードタイム短縮や面接実施数の拡大など取組みを強化。尚、3Q採用数は四半期ベースで過去最高を更新。
- 3Q定着率(今期累計)は79.0%と前期比+4.4pts改善。直近1年間のLTM定着率も72.7%と前四半期から0.4pts改善。

採用・退職数

(単位：人)

	2022/3期						2023/3期				
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計	通期(予想)
採用数計	230	208	213	651	183	834	293	315	417	1,025	1,501
新卒・第二新卒	56	0	0	56	0	56	54	2	12	68	84
中途	174	208	213	595	183	778	239	313	405	957	1,417
退職数計	293	187	181	661	198	859	223	158	191	572	885
無期雇用技術者	24	25	21	70	24	94	40	49	58	147	-
有期雇用技術者	269	162	160	591	174	765	183	109	133	425	-
純増減	△63	+21	+32	△10	△15	△25	+70	+157	+226	+453	+616
M&A等による増加	0	0	0	0	0	0	+122	0	0	+122	+122
期末在籍人数	1,957	1,978	2,010	2,010	1,995	1,995	2,187	2,344	2,570	2,570	2,733

定着率

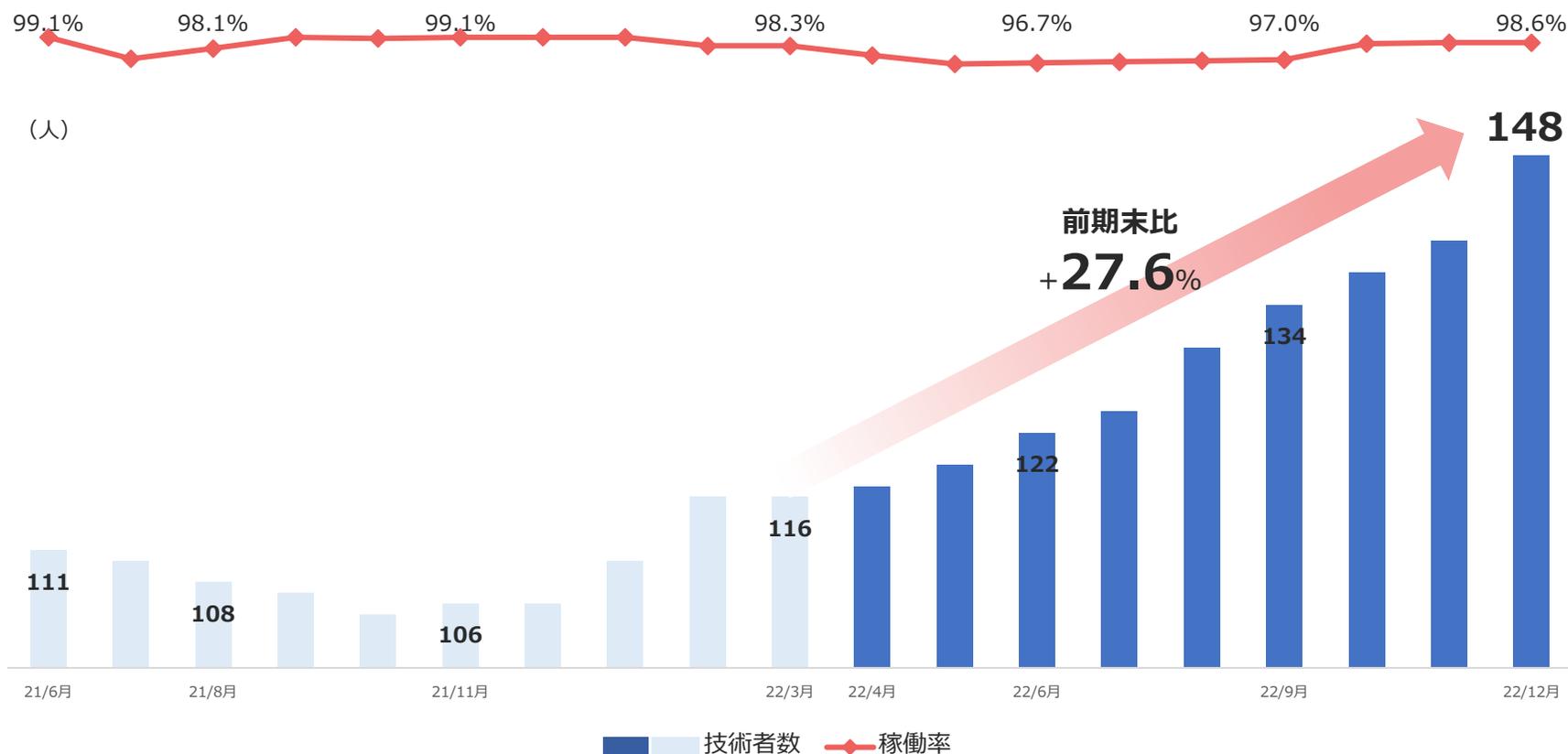
	2022/3期				2023/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
定着率(今期累計)	84.8%	79.3%	74.6%	69.4%	89.7%	84.2%	79.0%
定着率(LTM)	68.0%	69.5%	69.2%	69.4%	71.8%	72.3%	72.7%

※ 定着率(今期累計) = 前4Q末に在籍していた技術者のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

※ 定着率(LTM) = 1年前の四半期末に在籍していた技術者の内、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

機械設計開発技術者派遣・請負：技術者数・稼働率

- 前期より拡充を進めてきた社内体制の整備に従い、採用数が拡大。これにより技術者数は順調に増加。
- 3Q累計期間の稼働率は97.5%で推移。未経験者の採用強化に伴う社内研修期間の影響により、稼働率は前期に比べ若干低下。



機械設計開発技術者派遣・請負：採用/退職・定着率

- ・未経験者に加え、メーカー出身のエキスパート人材を中心とした経験者の採用は引き続き順調に推移。
- ・定着率は安定して高い水準で推移。

採用・退職人数

(単位：人)

	2022/3期				2023/3期				
	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-3月)	通期	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	3Q累計	通期(予想)
採用数計	2	3	15	20	14	23	25	62	85
新卒	0	0	0	0	1	0	0	1	1
中途	2	3	15	20	13	23	25	61	84
退職数計	5	5	5	15	8	11	11	30	23
無期雇用技術者	5*	4	3	12	7	7	5	19	-
有期雇用技術者	0	1	2	3	1	4	6	11	-
純増減	△3	△2	+10	+5	+6	+12	+14	+32	+62
期末在籍人数	108	106	116	116	122	134	148	148	178

※ 2022/3期4Qは決算期の変更により、2021年12月から2022年3月の4ヵ月間の実績。

定着率

	2022/3期			2023/3期		
	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-3月)	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)
定着率(今期累計)	95.4%	91.7%	88.9%	93.1%	89.7%	85.3%
定着率(LTM)	92.7%	90.8%	88.9%	84.7%	85.2%	84.9%

※ 定着率(今期累計) = 前4Q末に在籍していた技術者のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

※ 定着率(LTM) = 1年前の四半期末に在籍していた技術者の内、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

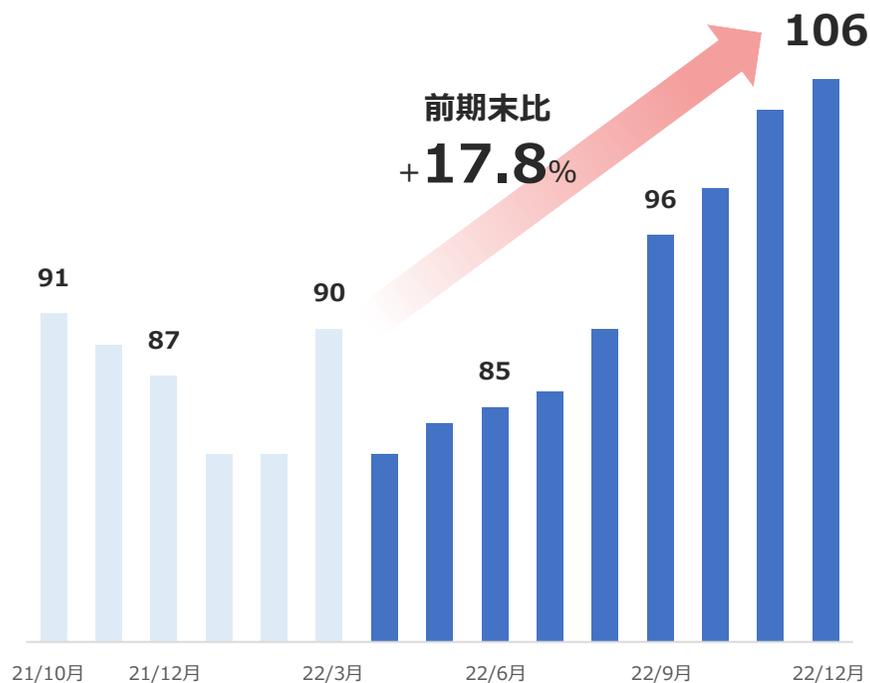
※ 2022/3期4Qは決算期の変更により、2021年12月から2022年3月の4ヵ月間の実績。

SES：技術者稼働人数・応募者数

・応募数が伸長。営業体制の順次強化に伴い稼働人数も順調に増加。

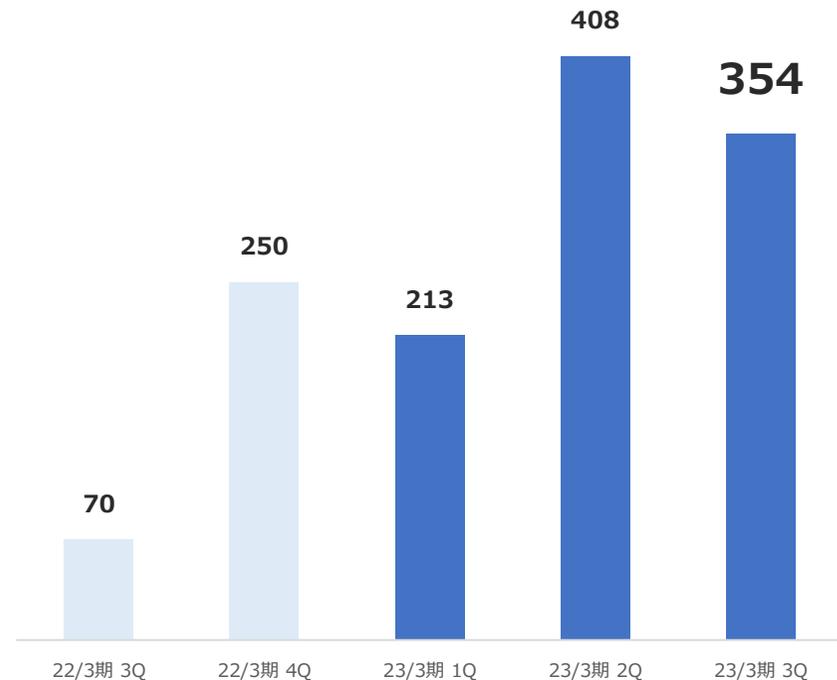
稼働人数

(人)



応募者数

(人)



免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資の参考に資するため、株式会社コプロ・ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

株式会社コプロ・ホールディングス
経営企画室 IR戦略推進課

フリーダイヤル

0120-253-066

IRサイト お問い合わせページ

<https://www.copro-h.co.jp/contact/>



IRメルマガ登録

<https://www.copro-h.co.jp/contact/>

